

入 学 志 願 書

私は、貴校へ入学したいので、保護者と連署してお願いします。

令和 年 月 日
鳥取県立 学校長 様

志 願 者 氏 名

保護者等氏名

				※受付番号		
志願者	(ふりがな) 氏 名		生年 月 日	昭和 平成 令和	年 月 日生 (満 歳)	
	住 所	〒 -				
	最終学歴	(年 月 日 卒業・卒業見込)				
保護者等	氏 名		(緊急連絡先電話番号)			
	住 所	〒 -				
障がいの種類 及び程度						
受検時に希望 する配慮事項		※希望する場合に記入してください。				
入学希望の 部科名及び 学年又は学級	幼 稚 部	() 歳児				
	高 等 部	() 部門 普通科 単一障がい学級・重複障がい学級・訪問学級				
		() 科				
	専 攻 科	理療科				

受 検 証		
※受検番号		
氏 名		
生年月日	昭和 平成 令和	年 月 日生
上の者は、令和8年度 一 般 ・ 再募集 入学検査の受検者であることを証する。 鳥取県立 学校長		

- (記入上の注意事項)
- 1 「入学志願書」「受検証」共に記入してください。ただし、
※印の欄(受付番号及び受検番号)は記入しないでください。
 - 2 「志願者最終学歴」欄については、
①高等部志願者は最終の出身中学校又は特別支援学校中学部名を記入してください。
②専攻科志願者は最終の高等学校又は特別支援学校高等部名等を記入してください。
 - 3 「受検時に希望する配慮事項」欄について該当する場合、
①鳥取盲学校志願者は、配慮事項を記入してください。
②琴の浦高等特別支援学校志願者は、「申請済」と記入してください。
 - 4 入学希望の部科名及び学年又は学級の欄の部門については、鳥取養護学校・皆生養護学校においては、肢体不自由又は病弱、倉吉養護学校においては、知的障がい又は肢体不自由のどちらか志望する名称を記入してください。琴の浦高等特別支援学校においては、高等部を○で囲んでください。
 - 5 太字の項目については、該当するものを○で囲んでください。
 - 6 満年齢は令和8年4月1日現在で記入してください。
 - 7 押印不要。

診 断 書

住 所

氏 名

生年月日

性別（ ）

年

月

日

1 診断名・疾患・病名

2 障がいの発生年齢

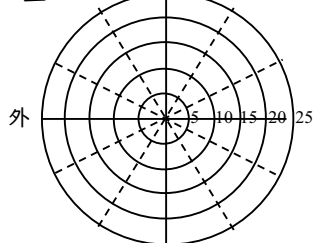
3 現 症

(1) 視 力

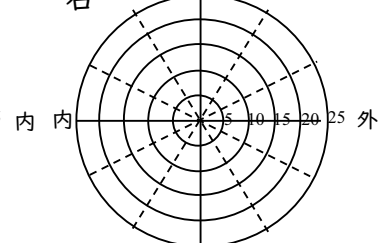
	裸 眼	矯正視力	矯正度数
右 眼			
左 眼			
両 眼			

(2) 視 野

左



右



(3) 眼 圧

右

mmHg

左

mmHg

(6) 外眼部

(7) 前眼部

(8) 中間透光体

(4) 色 覚

(9) 眼 底

(5) 眼 位

(10) その他

4 所 見

--

令和 年 月 日

所 在 地

病（医）院名

医師（氏名）

診 断 書

住 所

氏 名

生年月日

性別（ ）

年

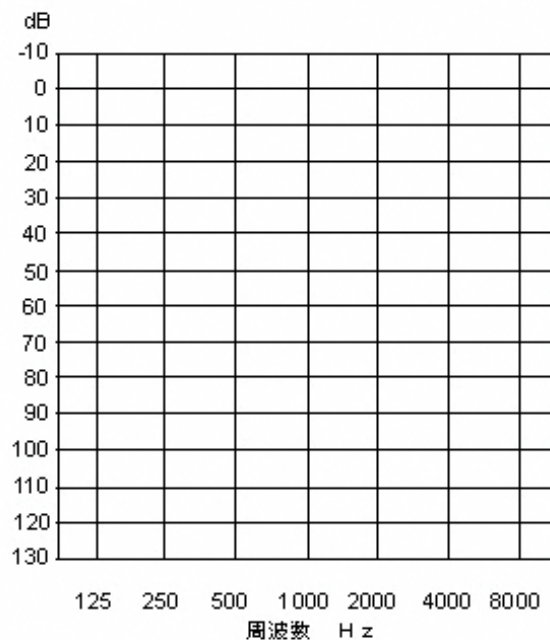
月

日

1 診断名・疾患・病名

2 障がいの発生年齢

3 聴 力（会話音域の平均聴力レベル） 右 d B 左 d B



○右裸耳聴力
×左裸耳聴力
▲補聴器等装用閾値

4 聴力障がいの状況、日常生活での注意

5 所 見

令和

年

月 日

所 在 地

病（医）院名

医師（氏名）

診 断 書

住 所

氏 名

性別（ ）

生年月日

年

月

日

1 診断名・疾患・病名

2 臨床検査結果

【知能（発達）検査】	【参考となる心理検査等】
知能（発達）検査…（ 要 ・ 不要 ） ○実施検査名（ ） ○実施期日 年 月 日 ○検査結果（IQ 等）及び所見など	○実施検査名（ ） ○実施期日 年 月 日 ○検査結果及び所見など

3 精神・身体症状 ※該当箇所にチェックし、詳細を「特記事項」に記載する。

☐	聞くことの苦手さ	☐	こだわり（固執性）	☐	パニック
☐	読み書きの困難さ	☐	対人スキルの未熟さ	☐	集団活動への参加の困難さ
☐	計算の困難さ	☐	感覚過敏	☐	感情コントロールの困難さ
☐	語彙の不足	☐	不安	☐	緘黙
☐	不注意	☐	睡眠障がい	☐	気持ちや思いを伝えることの困難さ
☐	多動	☐	登校困難	☐	てんかん発作等
☐	衝動性	☐	暴言・反抗	☐	全般的な理解力の低下
☐	その他：				
[特記事項]					

4 所 見（医療的な配慮事項や服薬等）

令和 年 月 日
所在地
病（医）院名
医師（氏名）

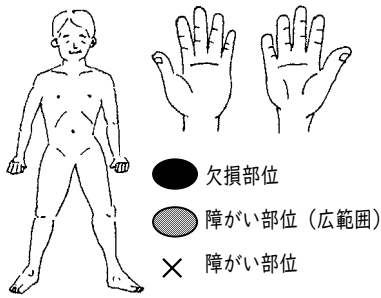
診 断 書

住 所
氏 名
生年月日 年 月 日 性別（ ）

1 診断名・疾患・病名

2 障がいの発生年齢

3 現 症



4 合 併 症（※該当欄に○印をつける。）

	認められない	軽い	中程度	重い	備考
視 力 障 が い					
聴 力 障 が い					
知 的 障 が い					
情 緒 障 が い					
て ん か ん					
言 語 障 が い					
その他()					

5 利 き 手 右 左 不 明

6 A D L 評 価（※該当欄に○印をつける。※自助具、補装具があればできる時、備考欄にその器具名を入れる。）

項目	評定	できる (自立している)	なんとかできる (時間がかかる ・軽介助があれば できる)	むずかしい (全介助)	備考
座 る こ と					
起 立 す る こ と					
歩 く こ と					
階段の昇り降り					
筆 記 動 作					
ト イ レ 動 作					
食 事 す る こ と					
コミュニケーション(理解)					
コミュニケーション(表出)					
更 衣 動 作					
洗 面 す る こ と					

7 自助具、補装具の詳細

8 所 見

令和 年 月 日
所 在 地
病（医）院名
医師（氏名）

診断書

秘

住所氏名性別（ ）

生年月日年 月 日

- 1 病 名
- 2 現在の治療の状況
- 3 学校生活上特に留意すべき事項
- 4 所 見（今後の治療及び治癒の見込み等について）

令和 年 月 日

所在地

病（医）院名

医師（氏名）

申 告 書

志願者氏名			
入学を希望する 学校名	（ ） 白兔養護学校	（ ） 倉吉養護学校	（ ） 米子養護学校
	（ ） 琴の浦高等特別支援学校		

1 志願者に知的障がいがあることに對し、どのような点に留意のうえ指導及び支援を行ってきたかについて

2 知的障がい以外の学級や学校に在籍することが適当と判断した理由

3 知的障がい特別支援学校への進学が適当であるとする理由について

（1） 知的機能の状況から見た側面

（2） 適応行動の状況から見た側面

（3） 教育課程から見た側面

（4） 将来の進路及び社会参加の方向性から見た側面

鳥取県立知的障がい特別支援学校高等部の入学者募集及び選抜の出願にあたり、以上のとおり申告します。

令和 年 月 日

学校長 _____

当該志願者については上記のとおりであり、鳥取県立知的障がい特別支援学校高等部への進学を希望します。

令和 年 月 日

保護者等 _____

申告書(記載内容について)

志願者氏名			
入学を希望する 学校名	() 白兔養護学校	() 倉吉養護学校	
	() 米子養護学校	() 琴の浦高等特別支援学校	

1 志願者に知的障がいがあることに対し、どのような点に留意のうえ指導及び支援を行ってきたかについて

2 知的障がい以外の学級や学校に在籍することが適当と判断した理由

3 知的障がい特別支援学校への進学が適当であるとする理由について

(1) 知的機能の状況から見た側面

論理的あるいは抽象的思考力、問題解決力、認知、学習機能等、情緒面ではなく知的活動の状況から、記入すること

(2) 適応行動の状況から見た側面

集団参加の状況、時・所・場合・T.P.Oに応じた配慮、協調性、公共交通機関の利用や地域活動への参加等の状況、労働に対する意欲や態度等について記入すること

(3) 教育課程から見た側面

中学校等で実施してきた教育課程を踏まえ、進学先の学校の教育課程及び教育内容が本人になぜ適していると考えられるかについて記入すること

(4) 将来の進路及び社会参加の方向性から見た側面

本人や保護者が希望する将来の進路や社会参加の方向性を踏まえ、進学先の学校が適切であると考えられる理由について記入すること

鳥取県立知的障がい特別支援学校高等部の入学者募集及び選抜の出願にあたり、以上のとおり申告します。

令和 年 月 日

押印不要

学校長

当該志願者については上記のとおりであり、鳥取県立知的障がい特別支援学校高等部への進学を希望します。

令和 年 月 日

押印不要

保護者等

※受検番号

自 己 申 告 書

令和 年 月 日

鳥取県立

学校長 様

出身(在学)学校名

志 願 者 氏 名

保護者等氏名

わたしは、貴校への志願にあたり、以下のことを申告します。

【特別支援学校に理解してほしいことがら】

学校に行けなかった理由、特別支援学校で学びたいこと、将来の希望などについて記入してください。

（次ページに注意事項あり）

自己申告書についての注意事項

- 1 特別支援学校に理解してほしい特別な事情がある志願者は、出身（在学）学校から自己申告書用紙の配付を受け、志望先特別支援学校に提出することができる。
- 2 自己申告書を提出できる者は以下のとおりとする。
 - （１）第３学年の欠席日数が５０日以上のある者
 - （２）第３学年の欠席日数が５０日未満であるが、次のいずれかに該当する者
 - ア 適応指導教室、児童相談所などに長期間通ったことがある者
 - イ 学校の保健室・相談室や病院に長期間通ったことがある者
 - ウ 第１学年又は第２学年の欠席日数が原則として５０日以上のある者
- 3 記載上の注意
 - （１）自己申告書の記載内容は、学校に行けなかった理由、特別支援学校で学びたいこと、将来の希望など、志望先特別支援学校に理解してほしいことがらとする。
 - （２）自己申告書の志願者氏名及び申告の内容は志願者本人が、また保護者等氏名は保護者等本人がそれぞれ記入する。
 - （３）※欄（受検番号欄）には記入しないこと。
 - （４）押印不要。
- 4 自己申告書を提出しようとする者は、この申告書を出身（在学）学校名、本人氏名を明記した封筒に入れて厳封し、志願書とともに出身（在学）学校長に提出する。
- 5 自己申告書の提出を受けた出身（在学）学校長は、他の出願書類とともに志願先特別支援学校の校長に提出する。
- 6 出身（在学）学校長から自己申告書の提出を受けた特別支援学校長は、自己申告書の内容に応じて、面接等の仕方に配慮する。
- 7 出身（在学）学校長から自己申告書の提出を受けた特別支援学校長は、記載内容によって志願者に不利が生じることのないように配慮する。

配 慮 申 請 書 I

令和 年 月 日

鳥取県立鳥取盲学校長 様

志 願 者 氏 名

保 護 者 等 氏 名

令和8年度鳥取県立鳥取盲学校入学者募集及び選抜の検査にあたっての配慮事項について、下記のとおり申請します。

記

1 障がいの状況

2 希望する配慮事項

学校長の所見（中学校等で行っている配慮事項を記入。）※既卒者は記入不要

学 校 名

校長氏名

（注）1 中学校等の校長は、出願時に提出すること。

2 用紙の規格はA4判縦長とする。

3 押印不要。

4 志願書の「受検時に希望する配慮事項」欄に申請内容を記載すること。

配 慮 申 請 書 Ⅱ

令和 年 月 日

鳥取県立鳥取盲学校長 様

住 所

志 願 者 氏 名

保 護 者 等 氏 名

令和8年度鳥取県立鳥取盲学校入学者募集及び選抜の検査にあたっての配慮事項について、下記のとおり申請します。

記

1 教育歴

学 校 名	所 在 地（国名・都市名）	期 間
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月
備 考		

（注）備考の欄には、特に参考となることがあれば記入する。

2 日本語能力の状況

3 希望する配慮事項

学校長の所見（中学校等で行っている配慮事項を記入。）※既卒者は記入不要

学 校 名

校 長 氏 名

（注）1 中学校等の校長は、出願時に提出すること。

2 用紙の規格はA4判縦長とする。

3 押印不要。

4 志願書の「受検時に希望する配慮事項」欄に申請内容を記載すること。

令和 8 年度鳥取県立鳥取盲学校入学者募集及び選抜

検査にあたっての配慮事項決定通知書

令和 年 月 日

（学校名）校長 様
※既卒者は本人氏名

鳥取県立鳥取盲学校長
（ 公 印 省 略 ）

貴校から申請のあった下記志願者の検査にあたっての配慮事項について、下記のとおり決定しましたので通知します。

記

志 願 者 氏 名	
検 査 に あ た っ て の 配 慮 事 項	
【許可事項】	【不許可事項】

（注）中学校等の校長は、志願者本人に決定通知書を渡すこと。

県外志願者出願届 令和 年 月 日 鳥取県立琴の浦高等特別支援学校長 様 志願者氏名 保護者等氏名 下記の事情により、県外志願者として貴校に出願します。なお、貴校に出願した上は、鳥取県以外の公立学校に出願しないことを確約します。 記 <table><tr><td>生 年 月 日</td><td>昭和 年 月 日生 平成</td></tr><tr><td>志願者の現住所</td><td></td></tr><tr><td>志願者の転居先住所</td><td></td></tr><tr><td>志願者の転居予定日</td><td>令和 年 月 日</td></tr><tr><td>保護者等の現住所</td><td></td></tr><tr><td>出身中学校等</td><td>卒業・卒業見込</td></tr><tr><td>特 別 事 情</td><td></td></tr></table> 上記のとおり相違ないことを証明します。 令和 年 月 日 学 校 名 校長氏名		生 年 月 日	昭和 年 月 日生 平成	志願者の現住所		志願者の転居先住所		志願者の転居予定日	令和 年 月 日	保護者等の現住所		出身中学校等	卒業・卒業見込	特 別 事 情	
生 年 月 日	昭和 年 月 日生 平成														
志願者の現住所															
志願者の転居先住所															
志願者の転居予定日	令和 年 月 日														
保護者等の現住所															
出身中学校等	卒業・卒業見込														
特 別 事 情															

（注）押印不要。

配 慮 申 請 書 I

令和 年 月 日

鳥取県立琴の浦高等特別支援学校長 様

志 願 者 氏 名

保護者等氏名

令和 8 年度鳥取県立琴の浦高等特別支援学校入学者選抜の検査にあたっての配慮事項について、下記のとおり申請します。

記

1 障がいの状況

2 希望する配慮事項

学校長の所見（中学校等で行っている配慮事項を記入）

学 校 名

校長氏名

- （注） 1 中学校等の校長は、令和 7 年 9 月 30 日（火）午後 4 時までに提出すること。
2 用紙の規格は A 4 判縦長とする。
3 押印不要。

配 慮 申 請 書 II

令和 年 月 日

鳥取県立琴の浦高等特別支援学校長 様

住 所

志 願 者 氏 名

保護者等氏名

令和 8 年度鳥取県立琴の浦高等特別支援学校入学者選抜の検査にあたっての配慮事項について、下記のとおり申請します。

記

1 教育歴

学 校 名	所 在 地（国名・都市名）	期 間
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月
		年 月 ～ 年 月
備 考		

（注）備考の欄には、特に参考となることがあれば記入する。

2 日本語能力の状況

3 希望する配慮事項

学校長の所見（中学校等で行っている配慮事項を記入）

学 校 名

校長氏名

（注） 1 中学校等の校長は、令和 7 年 9 月 30 日（火）午後 4 時までに提出すること。

2 用紙の規格は A 4 判縦長とする。

3 押印不要。

令和 8 年度鳥取県立琴の浦高等特別支援学校入学者選抜

検査にあたっての配慮事項決定通知書

令和 年 月 日

（学校名）校長 様

鳥取県立琴の浦高等特別支援学校長
（ 公 印 省 略 ）

貴校から申請のあった下記志願者の検査にあたっての配慮事項について、下記のとおり決定しましたので通知します。

記

志 願 者 氏 名	
検 査 に あ た っ て の 配 慮 事 項	
【許可事項】	【不許可事項】

（注） 1 中学校等の校長は、志願者本人に決定通知書を渡すこと。

2 志願書の「受検時に希望する配慮事項」欄に「申請済」と記載すること。

※ 受検番号

自 己 申 告 書

令和 年 月 日

鳥取県立琴の浦高等特別支援学校長 様

出身(在学)学校名
志 願 者 氏 名
保 護 者 等 氏 名

わたしは、貴校への志願にあたり、以下のことを申告します。

【琴の浦高等特別支援学校に理解してほしいことがら】

学校に行けなかった主な理由、琴の浦高等特別支援学校で学びたいこと、将来の希望などについて記入してください。

（次ページに注意事項あり）

自己申告書についての注意事項

- 1 琴の浦高等特別支援学校に理解してほしい特別な事情がある志願者は、出身（在学）学校から自己申告書用紙の配付を受け提出することができる。
- 2 自己申告書を提出できる者は以下のとおりとする。
 - (1) 第3学年の欠席日数が原則として40日以上のある者
 - (2) 第3学年の欠席日数が40日未満ではあるが、次のいずれかに該当する者
 - ア 適応指導教室、児童相談所などに長期間通ったことがある者
 - イ 学校の保健室・相談室や病院に長期間通ったことがある者
 - ウ 第1学年又は第2学年の欠席日数が原則として50日以上のある者
 - エ 第1学年又は第2学年の遅刻日数と早退日数の合計が原則として50日以上のある者
- 3 記載上の注意
 - (1) 自己申告書の記載内容は、学校に行けなかった理由、琴の浦高等特別支援学校で学びたいこと、将来の希望など琴の浦高等特別支援学校に理解してほしいことがらとする。
 - (2) 自己申告書の志願者氏名及び申告の内容は志願者本人が、また保護者等氏名は保護者等本人がそれぞれ記入する。
 - (3) ※欄（受検番号欄）には記入しないこと。
 - (4) 押印不要。
- 4 自己申告書を提出しようとする者は、この申告書を出身（在学）学校名、本人氏名を明記した封筒に入れて厳封し、志願書とともに出身（在学）学校の校長に提出する。
- 5 自己申告書の提出を受けた出身（在学）学校の校長は、他の出願書類とともに琴の浦高等特別支援学校長に提出する。
- 6 出身（在学）学校の校長から自己申告書の提出を受けた琴の浦高等特別支援学校長は、自己申告書の内容に応じて、選抜方法を工夫するなどの配慮をする。
- 7 出身（在学）学校の校長から自己申告書の提出を受けた琴の浦高等特別支援学校長は、記載内容によって志願者に不利が生じることをないように配慮する。

琴の浦高等特別支援学校入学者選抜の自己申告書について

学校を長期間欠席したことがある生徒は、「自己申告書」を琴の浦高等特別支援学校に提出することができます。

1 「自己申告書」を提出できる生徒

- (1) 第3学年の欠席日数が原則として40日以上の子
- (2) 第3学年の欠席日数が40日までにはないが、次のいずれかに該当する生徒
 - ア 適応指導教室、児童相談所などに長期間通ったことがある生徒
 - イ 学校の保健室・相談室や病院に長期間通ったことがある生徒
 - ウ 第1学年又は第2学年の欠席日数が原則として50日以上の子
 - エ 第1学年又は第2学年の遅刻日数と早退日数の合計が原則として50日以上の子

2 「自己申告書」の提出

- (1) 用紙は、担任の先生または出身中学校等からもらってください。
- (2) 「自己申告書」には、学校に行けなかった理由、琴の浦高等特別支援学校で学びたいこと、将来の希望などを書いてください。
- (3) 書き終えたら、必ず保護者の方等に見てもらい、封筒に入れ、封をして在籍している学校に提出してください。
- (4) 自己申告書はそのまま琴の浦高等特別支援学校に提出します。

3 「自己申告書」の取扱い

- (1) 提出を受けた琴の浦高等特別支援学校は、生徒の個々の事情に応じた配慮をします。

分からないことは、在籍する学校、又は琴の浦高等特別支援学校に問い合わせてください。

【琴の浦高等特別支援学校】

電 話 0858-55-6477

ファクシミリ 0858-55-6466

- 54 –

一般入学者選抜（追検査）受検願書

令和 年 月 日

鳥取県立琴の浦高等特別支援学校長 様

受 検 番 号

本 人 氏 名

保護者等氏名

このたび、令和 8 年度鳥取県立琴の浦高等特別支援学校（一般入学者選抜）を、下記理由により欠席しましたので、追検査を受検できるようお願いします。

記

理由

[]

上記のとおり届出がありました。

学 校 名

校長氏名

- （注）
- 1 中学校等の校長は、令和 7 年 12 月 3 日（水）午後 4 時までに提出すること。
 - 2 理由欄には、欠席の理由を具体的に記入すること。
 - 3 用紙の規格は A 4 判縦長とする。
 - 4 欠席理由を証明する医師の診断書等をあわせて提出すること。
 - 5 押印不要。

入 学 確 約 書

令和 年 月 日

鳥取県立琴の浦高等特別支援学校長 様

受 検 番 号

本 人 氏 名

保護者等氏名

このたび、令和 8 年度鳥取県立琴の浦高等特別支援学校入学者選抜において、貴校に合格しましたので、入学することを確約します。

上記のことを承知しています。

学 校 名

校長氏名

- （注） 1 中学校等の校長は、令和 8 年 1 月 6 日（火）正午までに提出すること。
2 再募集については、琴の浦高等特別支援学校長が定める日までに提出すること。
3 用紙の規格は A 4 判縦長とする。
4 押印不要。

入 学 確 約 者 名 簿

鳥取県立琴の浦高等特別支援学校長 様

番号	受検番号	氏 名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
入学確約者 計 名		

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

学 校 名

校長氏名

- (注) 1 令和 8 年 1 月 6 日（火）午後 1 時までに提出すること。
2 入学確約者がいない場合も入学確約者数 0 名として提出すること。
3 用紙の規格は A 4 判縦長とする。
4 押印不要。

適性検査、作文、面接実施計画書

鳥取県立琴の浦高等特別支援学校

1 適性検査1

(1) 日時	令和	年	月	日 ()	時	分
(2) 実施場所						
(3) 内容						

2 適性検査2

(1) 日時	令和	年	月	日 ()	時	分
(2) 実施場所						
(3) 内容						

3 作文

(1) 日時	令和	年	月	日 ()	時	分
(2) 実施場所						
(3) 内容						

4 面接

(1) 日時	令和	年	月	日 ()	時	分
(2) 面接時間	() 分					
(3) 内容						

(注) 1 令和7年11月4日(火)までに提出すること。

2 用紙の規格はA4判縦長とする。

3 必要に応じてページ数を増やしてもよい。

再 募 集 実 施 計 画 書		
学 校 名	鳥取県立琴の浦高等特別支援学校	
期 日	令和8年1月16日（金）	
実施内容	学 力 検 査	
	適 性 検 査	
	作 文	
	面 接	
日 程		
備 考		

- （注）
- 1 該当するものを○で囲むこと。
 - 2 日程欄には、集合時刻、各検査の実施時刻、場所等を記入すること。
 - 3 令和8年1月7日（水）午後1時までに提出すること。
 - 4 用紙の規格はA4判縦長とする。

入学志願者数等報告書（琴の浦高等特別支援学校→特別支援教育課）

鳥取県立琴の浦高等特別支援学校

一般入学 志願者数等	募集 定員	志願者 数	志願者のうち				志願者数の出身地区別内訳			
			過年度 卒業生	県外 志願者	自己申告書 提出者	配慮申請書 提出者	県内 東部	県内 中部	県内 西部	県外
提出期限 令和7年11月7日 午後1時まで							()	()	()	()

一般入学 受検者数等	受検者 数	欠席者 数	欠席者の理由内訳		
			病気	その他	
					備考
提出期限 令和7年12月2日 正午まで					

追試験 志願者数等	志願者 数	志願理由内訳	
		インフル エンザ等	その他
提出期限 令和7年12月3日 午後5時まで			

追試験 受検者数	受検者 数
提出期限 令和7年12月9日 正午まで	

一般入学 合格者数等	合格者 数	合格者のうち			
		過年度 卒業生	県外 志願者	自己申告書 提出者	配慮申請書 提出者
提出期限 令和7年12月18日 午後1時まで					

一般入学 入学確約書提出者数等	合格者 数	繰上合格者数	入学確定者
提出期限 令和8年1月7日 午後1時まで			

再募集 志願者数等	募集 定員	志願者 数	志願者のうち			志願者数の出身地区別内訳			
			過年度 卒業生	県外 志願者	自己申告書 提出者	県内 東部	県内 中部	県内 西部	県外
提出期限 令和8年1月9日 午後1時まで						()	()	()	()

再募集 受検者数等	受検者 数	合格者 数
提出期限 令和8年1月22日 午後1時まで		

再募集 入学確約書提出者数	入学確定者
提出期限 琴の浦高等特別支援学校が定めた 日の午後1時まで	

入学許可書提出者数	入学許可者数
提出期限 入学式実施日	

(注)

- ・出身地区別志願者の内訳は、出身中学校等の所在地によること。
- ・内訳は、上段に令和8年3月卒業生数、()内に過年度卒業生者数を記入すること。

入学志願者数等報告書（一般受検）

【幼稚園】

学校名	年齢	学級	志願者数 (人)	受検者数(人)		受検者数のうち 県外志願者数(人)	入学候補者数(人)	入学候補者数のうち 県外志願者数(人)	
				計				計	
鳥取聾学校 幼稚園部	5歳児	単一 重複							
	4歳児	単一 重複							
	3歳児	単一 重複							
鳥取聾学校 ひまわり分校 幼稚園部	5歳児	単一 重複							
	4歳児	単一 重複							
	3歳児	単一 重複							
皆生養護学校 幼稚園部	5歳児	単一 重複							
	4歳児	単一 重複							

1 報告内容

一般受検について

- 志願者数、受検者数及び入学候補者数等報告書
・幼稚園部

2 報告方法

- 電子メール (tokubetusienkyoiku@pref.tottori.lg.jp) で特別支援教育課に送付すること。

3 報告期限

- 志願者数は、各出願期間終了後3日以内（土日も含む）に送付すること。
○ 受検者数は、各受検日の午後1時までに送付すること。ただし、皆生養護学校幼稚園部は午後4時までに送付とする。
○ 入学候補者数は、発表後直ちに送付すること。

入学志願者数等報告書（一般受検）

【高等部・専攻科】

学校名	科名	学級	定員 (人)	志願者数 (人)	受検者数 (人)		入学候補者・ 合格者数 (人)		入学候補者・ 合格者数のうち	
					計	過年度卒業者 (人)	県外志願者 (人)	計	過年度卒業者 (人)	県外志願者 (人)
鳥取盲学校	普通科	単一 重複								
	保健医療科		8							
	専攻科		10							
鳥取聾学校	普通科	単一 重複								
	産業工芸科									
	生活デザイン科									
鳥取養護学校	普通科	単一 重複								
	知的 肢体 不自由	単一 重複								
	訪問									
白兔養護学校	普通科	単一 重複								
	知的 肢体 不自由	単一 重複								
	訪問									
倉吉養護学校	普通科	単一 重複								
	知的 肢体 不自由	単一 重複								
	訪問									
皆生養護学校	普通科	単一 重複								
	知的 肢体 不自由	単一 重複								
	訪問									
米子養護学校	普通科	単一 重複								
	知的 肢体 不自由	単一 重複								
	訪問									

1 報告内容

一般受検について

- 志願者数、受検者数及び入学候補者・合格者数等報告書・高等部、専攻科

3 報告期限

- 志願者数は、各出願期間終了後3日以内（土日も含む）に送付すること。
- 受検者数は、各受検日の午後1時までに送付すること。
- 入学候補者・合格者数は、発表後直ちに送付すること。

2 報告方法

- 電子メール（tokubetustienkyoiku@pref.tottori.lg.jp）で特別支援教育課に送付すること。

入学志願者数等報告書（再募集又は学校長が特に認めた受検）

【高等部・専攻科】

学校名	科名	学級	再募集人員 (人)	志願者数 (人)	受検者数 (人)		受検者数のうち		入学候補者・合格者数 (人)	入学候補者・合格者数のうち	
					計		過年度卒業者 (人)	県外志願者 (人)		過年度卒業者 (人)	県外志願者 (人)
鳥取盲学校	普通科	単一 重複									
	保健医療科										
	専攻科										
鳥取聾学校	普通科	単一 重複									
	産業工芸科										
	生活デザイン科										
鳥取養護学校	普通科	単一 重複									
		知的 肢体 不自由									
白兔養護学校	普通科	単一 重複									
		訪問									
倉吉養護学校	普通科	単一 重複									
		知的									
		肢体 不自由									
皆生養護学校	普通科	訪問									
		単一 重複									
米子養護学校	普通科	訪問									
		単一 重複									

【幼稚部】

学校名	年齢	学級	志願者数（人）	受検者数（人）		受検者数のうち 県外志願者数（人）	入学候補者数 （人）		入学候補者のうち 県外志願者数（人）
					計			計	
鳥取聾学校 幼稚部	5歳児	単一 重複							
	4歳児	単一 重複							
	3歳児	単一 重複							
鳥取聾学校 ひまわり分校 幼稚部	5歳児	単一 重複							
	4歳児	単一 重複							
	3歳児	単一 重複							
皆生養護学校 幼稚部	5歳児	単一 重複							
	4歳児	単一 重複							

1 報告内容

再募集又は学校長が特に認めた受検について

- 志願者数、受検者数及び入学候補者・合格者数等報告書

2 報告方法

- 電子メール（tokubetusienkyoiku@pref.tottori.lg.jp）で特別支援教育課に送付すること。

3 報告期限

- 志願者数は、各出願期間終了後、速やかに送付すること。
○ 受検者数は、各受検日の午後1時までに送付すること。
○ 入学候補者・合格者数は、発表後直ちに送付すること。

鳥取県立特別支援学校入学者募集及び選抜における諸検査の実施報告

(学校名)

- (1) 諸検査の実施状況 ① 幼稚園で実施 ② 高等部で実施 ③ 専攻科で実施
- (2) 諸検査の実施内容（ただし、鳥取盲学校高等部保健医療科・専攻科医療科及び琴の浦高等特別支援学校を除く。）

実施の有無	実 施 項 目	検 査 の 概 要
	1 学力に関すること	
	2 生活能力に関すること	
	3 運動能力に関すること	
	4 作業能力に関すること	
	5 適性に関すること	
	6 行動観察	
	7 その他	

- (1) の記入について
- ・該当する番号を○で囲むこと。複数回答可。
- (2) の記入について
- ・「実施の有無」の欄には、実施した項目に「○」、実施していない項目は「×」記入すること
 - ・「検査の概要」については、記入例を参考に実施した項目のみ記入する。未実施の項目は空欄でよい。
 - ・諸検査に関わる問題等があれば、添付して提出すること。
 - ・提出は、諸検査の実施日に、電子メール（tokubetustienkyoiku@pref.tottori.lg.jp）で特別支援教育課に送付すること。

学校教育法

（特別支援教育）

第七十二条 特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者（身体虚弱者を含む。以下同じ。）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

第七十五条 第七十二条に規定する視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者の障害の程度は、政令で、これを定める。

学校教育法施行令

（視覚障害者等の障害の程度）

第二十二條の三 法第七十五条の政令で定める視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者の障害の程度は、次の表に掲げるとおりとする。

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもの のうち、拡大鏡等の使用によつても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可 能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用に よつても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	1. 知的発達遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に 援助を必要とする程度のもの 2. 知的発達遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないもののうち、社会生活へ の適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によつても歩行、筆記等日常生活における基 本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観 察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が 継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

備考

- 一 視力の測定は、万国式試視力表によるものとし、屈折異常があるものについては、矯正視力によつて測定する。
- 二 聴力の測定は、日本工業規格によるオーディオメータによる。

学校教育法施行規則

第九十五条 学校教育法第五十七条の規定により、高等学校入学に関し、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 外国において、学校教育における九年の課程を修了した者
- 二 文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 三 文部科学大臣の指定した者
- 四 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則（昭和四十一年文部省令第三十六号）により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- 五 その他高等学校において、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

第一百五十条 学校教育法第九十条第一項の規定により、大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- 一 外国において学校教育における十二年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- 二 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- 三 専修学校の高等課程（修業年限が三年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 四 文部科学大臣の指定した者
- 五 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定（以下「旧検定」という。）に合格した者を含む。）
- 六 学校教育法第九十条第二項の規定により大学に入学した者であつて、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- 七 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、十八歳に達したもの

問 合 せ 先 一 覧 表

学校名	郵便番号 住 所	電 話 ファクシミリ	ホームページ	
			URL	QR コード
鳥取盲学校	〒680-0151 鳥取市国府町宮下 1265	0857-23-5441 0857-23-5442	https://www.torikyo.ed.jp/torimo-s/	
鳥取聾学校	〒680-0151 鳥取市国府町宮下 1261	0857-23-2031 0857-27-8606	https://www.torikyo.ed.jp/toriro-s/	
ひまわり分校	〒683-0004 米子市上福原7丁目13-1	0859-23-2810 0859-23-2813	https://www.torikyo.ed.jp/himawari-s/	
鳥取養護学校	〒680-0901 鳥取市江津 260	0857-26-3601 0857-27-3207	https://www.torikyo.ed.jp/toriyo-s/	
白兔養護学校	〒689-0201 鳥取市伏野 1550-1	0857-59-0585 0857-59-1237	https://www.torikyo.ed.jp/hakuto-s/	
倉吉養護学校	〒682-0836 倉吉市長坂新町 1231	0858-28-3500 0858-28-1144	https://www.torikyo.ed.jp/kurayo-s/	
皆生養護学校	〒683-0004 米子市上福原7丁目13-4	0859-22-6571 0859-38-3485	https://www.torikyo.ed.jp/kaikeyo-s/	
米子養護学校	〒689-3543 米子市蚊屋 343	0859-27-3411 0859-27-3420	https://www.torikyo.ed.jp/yonagoyo-s/	
琴の浦高等特別支援学校	〒689-2501 東伯郡琴浦町赤碕 1957-1	0858-55-6477 0858-55-6466	https://www.torikyo.ed.jp/kotonoura-s/	
特別支援教育課	〒680-8570 鳥取市東町1丁目271	0857-26-7575 0857-26-8101	https://www.pref.tottori.lg.jp/tokubetushien/	

特別支援教育課報告用電子メールアドレス

tokubetusienkyoiku@pref.tottori.lg.jp

